

笑顔溢れるまちづくり委員会 事業報告

I. 委員

委員長	加古 雅士		
副委員長	樋田 安央		
委員会メンバー	玉川 圭亮	戸間 裕司	吉野 祐史
	坂 代地		
幹事	神野 博	清水 晋二	加藤 和男

II. 委員会事業

1. 2月例会（名古屋会議）
2. 4月例会
3. 5月例会（知多5JC 合同例会）
4. サマーコンファレンス
5. 10月例会

III. 委員会活動報告

	事業名または活動内容	成 果
1月	4月例会内容協議 2月例会（名古屋会議）準備	4月例会を講師例会とすることを確認した。 案内文の作成、LOM ナイトの設営準備を行った。
2月	4月例会内容協議 2月例会（名古屋会議）	講師の講演に参加し、講演内容について打合せをした。 「つながり」溢れる愛知の創世に向けて基本方針・重点事業を知る事ができた。
3月	4月例会内準備	チラシ・ポスター配布、資料作成、委員会メンバーの役割の確認を行った。
4月	4月例会開催 10月例会内容協議	4月例会開催により、「お弁当の日」の良さ、「くらしの時間」を大切にされた教育の必要性を学んでもらう事ができた。 船島小学校にて教職員との打合せを行った。
5月	5月例会（知多5JC 合同例会） 10月例会準備	知多半島委員会の存在意義、広域連携の必要性を学ぶことができた。 東海市健康推進課・大田コミュニティ・知多メディアスと打合せを行った。
6月	10月例会準備	船島小学校にて農業体験・調理実習を行った。
7月	4月例会事業収支決算作成 サマーコンファレンス 10月例会内容協議	4月例会を振り返り、事業目的達成の有無、次年度への引き継ぎ事項を確認できた。 セミナー・フォーラムに参加しイノベーションを起こす思考を学ぶ事ができた。 教育関係者との打合せ、事業全体の方向性の確認をした。
8月	10月例会内容協議	参加対象児童の範囲の確認、事業規模の見直しを行った。
9月	10月例会内準備	チラシ・ポスター配布、資料作成、委員会メンバーの役割の確認、三ツ池小学校での料理教室を行った。
10月	10月例会開催	10月例会開催により、作ってくれた人の時間や愛情を食べているということ気づいてもらい、「くらしの時間」の充実につなげる事が出来た。
11月	委員会開催	明倫小学校・大田小学校にて調理実習を行い、「くらしの時間」の充実に貢献できた。

12月	委員会開催	10月例会のリーフレットを作成・配布し、10月例会の成果をアピールする事ができた。
	10月例会事業収支決算作成 事業報告作成	10月例会を振り返り、事業目的達成の有無、次年度への引き継ぎ事項を確認できた。事業報告書を作成し、1年の活動を総括した。

IV. 委員会決算報告

単位：円

事業名	予算	決算
1. 4月例会	260,000	256,964
2. 10月例会	403,000	398,580
合計	663,000	655,544

V. 委員長所見

委員長 加古 雅士

2015年度一般社団法人東海青年会議所笑顔溢れるまちづくり委員会委員長という大役を与えていただいたからこそ経験できた学びが沢山ありました。特に教育関係者との交流は学校教育の現状を学ぶ事ができ、私自身の学校教育に対する価値観を大きく変化させました。

しかし、本来であれば理事会での部分審議を頂き開催しなければいけない調理実習支援の日程と内容が、学校との間で調整が進まず、上程する事が出来ませんでした。学校との間で特に調整が進まなかったものが、調理実習で使う食材、そして「お弁当の日」という家庭を巻き込んだ授業カリキュラムです。安全面への配慮から原則加熱処理（サラダも加熱）、生食肉の使用禁止が基本の東海市の教育現場において、「お弁当の日」にこだわらない「くらしの時間」の提案も委員会として考慮しておく必要がありました。

10月例会の募集の際には、船島小学校での調理実習や、掲載されたフリーペーパーが誤解を招き直前に参加を見合わせるスポーツ団体もあり、本当に例会を開催出来るのか不安になりました。その原因として、メンバーや地域スポーツ団を対象にした事前説明会の開催と、明確な参加基準を設定出来なかった事が大きな要因になっていると思いました。しかし、不十分な設営にも関わらず、アンケートから頂いた暖かい言葉と、東海市の「お弁当の日」を期待する親御さんやメンバーの思いを忘れる事無く、本事業を通じ築けた学校との関係を大切に、今後の活動や食に関わる社業を通し「くらしの時間」の大切さを伝えていきます。

最後に、本来であれば、例会に向けての委員会運営を通じJAYCEEの魅力を、幹事をはじめとする委員会メンバーに伝える立場でありながら、それが出来なかった自らの未熟さと、それをお手本のように見せていただいた各委員長の皆様。そして、例会後も続く調理実習支援に参加協力してくれる樋田安史副委員長をはじめとする笑顔溢れるまちづくり委員会のメンバーの皆様。2015年度の始まりから終わりまで、心配をおかけしながらも、優しく「委員長の思い」を大切に下さった蟹江祥裕担当副理事長。そして私を笑顔溢れるまちづくり委員会の委員長に任命していただき、なかなか前に進まない委員会を時には見守り、時には強力にサポートしていただいた堤光彦理事長。皆様に深く感謝申し上げます。笑顔溢れるまちづくり委員会委員長の所見とさせていただきます。沢山の失敗と経験をさせていただき、ありがとうございました。